



# 松原苑だより

## 第126号

編集・発行  
指定介護老人福祉施設  
**松原苑**

東京都西多摩郡檜原村 5650-8  
TEL:042-598-0333  
FAX:042-598-0334



介護課長  
小南 敦子

日頃より松原苑ご利用者をはじめ、ご家族様、地域の皆様、関係機関の皆様等、多くの方々に温かいご支援とご協力をいただき心からのお礼と感謝を申し上げます。

この夏は、記録的な猛暑と残暑となりましたが、少しずつ秋の気配を感じられる頃、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。

令和七年度も四月よりスタートし、早くも半年が経過しようとしています。前年度の事業報告作成、六月の家族会、七月の七夕、『松原苑納涼夏祭り』、八月の花火大会の実施まで、例年よりも駆け足で過ぎた印象でございます。何故なら、介護職員の育児休暇取得者が三名重なる中、急

な病気療養や、更に退職者も重なり、予想外で人員が逼迫状態に陥ってしまい、この間には現場の係長をはじめ、私も現場に入り、また介護等専門の隙間バイト（求人サイト）を利用し、状況を凌いで来たからです。現在は嬉しいことに、職員の復帰、幾つかの素敵なご縁で、新たな職員が少しずつ増えて参りました。面会時に見かけない職員が居りましたら、新人職員でするので、お顔を覚えていただけたら幸いです。

そして先日、松原苑で一番大きな全体行事である『松原苑納涼夏祭り』を七年振りに開催致しました。この間に職員も入れ替わり、当時を知る職員も少なく、前述した通り、私も現場業務も平行して準備を進めて参りました。直前には職員によるコロナ陽性に伴い、二つのユニットのご利用者は夏祭り参加中止という、苦しい決断をしての開催となりました。中止とした二つのユニットでは、夏祭りの様子を

テレビで映し、楽しんでいただきましたが、夏祭りへの参加を断念したご家族様には、ご利用者同様、落胆させることとなり大変申し訳ございませんでした。

夏祭り当日は、職員をはじめ、参加いただきましたご家族様、地域の皆様、ご協力をいただきました業者の皆様、ボランティアの方々、そして、力強く素晴らしいパフォーマンスで盛り上げてくださいました松原太鼓の皆様のお陰で、盛大な夏祭りとなりました。改めまして、この場をお借りして感謝申し上げます。

至らぬ部分もあったかと思いますが、来年度も皆様と楽しい時間を共にできる『松原苑納涼夏祭り』を楽しみにしております。また、感染症については、今後も留意しながら事業継続を進めて参りますので、引き続き皆様のご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。



誕生日会・おやつの日

五月二十七日に杉・檜ユニット合同の誕生日会・おやつの日を行いました。杉ユニット二名、檜ユニット一名の誕生者を全員でお祝いしました。おやつは誕生者の希望も取り入れ、手作りのガトーショコラとあんこ入りスイートポテトタルトを提供しました。ご利用者からは「甘くて美味しい、甘すぎる、もっと食べたい」など様々な意見をいただくことができました。普段食欲のないご利用者にも完食していただき、とても嬉しくなりました。職員で選んだ誕生日プレゼントも、とても喜んでいただけました。



合同誕生日会は今回初めての開催となりましたが、たくさんのご利用者からお祝いの言葉をいただき、笑顔・涙溢れる思い出に残る日となりました。今後もご利用者に楽しい日々を過ごしていただけるよう誕生日会やおやつの日など様々な行事を開催していきたいと思っております。

(広報委員 M・M)

## 生け花クラブ

生け花クラブは毎月、華道有段者や経験がある職員を中心に、ご利用者が集まって実施しています。

生ける花や花器はそれぞれ入居者自身が自由に選んでオリジナルテイ溢れる制作を楽しませております。参加されるご利用者は普段交流が少ない他のユニットも交えて一緒に行われます。



の間の美しさや儂さを感じていただいていると思います。生け花クラブを通じて豊かな心を育み、他のユニットとの交流が図れるよう、今後も開催していきたいと思えました。

(広報委員D・S)

各々で作った生け花は居室に持ち帰って飾り、鑑賞して楽しんで頂いております。生花であるため、時間の経過と共に花は散るが、束



## 祝優勝

第四十三回自衛消防訓練技術審査会が今年も開催され、当施設も出場しました。これまで指導してくださった職員の皆様、そして当日も含め、多くの職員からの応援の声に支えられ、見事「優勝」という栄誉をいただくことが出来ました。日頃の訓練の成果を発揮し、緊張感のある中で、息の合った連携が高く評価されました。当



日は、数名のご利用者も応援に駆けつけてくださり、「本当に感動した。」など温かいお言葉をいただきました。この経験を励みに、今後も防災意識を高く持ち、いざという時に迅速な対応ができるよう、職員一同、引き続き訓練に励んでまいります。そして、ご利用者が安心して過ごせる施設づくりに努めてまいります。

(広報委員S・N)

祝

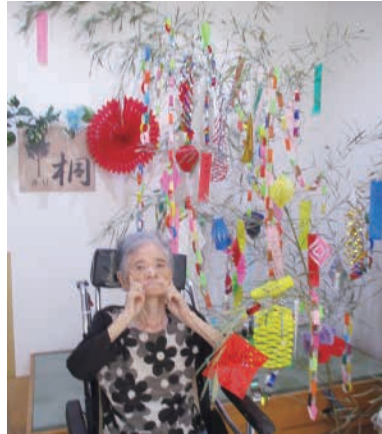
優勝

自衛消防訓練技術審査会



七夕の季節が訪れ、松原苑でも各ユニットの玄関前に笹を飾り、ご利用者にそれぞれ願いを書いて短冊を飾って頂きました。

何を書こうか迷いながら書かれるご利用者や、短冊を手に



取ると迷わず書かれるご利用者もいました。願いもそれぞれで、ご自身の健康の事、食事やおやつ、ご家族の健康等、思い思いの願いを書いていました。また、笹には短冊の他に折り紙で作成した装飾も飾り、見事な七夕飾りが出来ました。

短冊や装飾を飾りながら「綺麗だね」「これはすごいのが出来た」「私が書いた短冊見つけた」と皆様笑顔で大喜びをされていました。

七夕は、織姫と彦星が一年に一度だけ出会える特別な日。皆様の願いが叶いますように。

(広報委員 K・T)



## 中学生吹奏楽演奏会

松原苑では七月二十二日に檜原村立檜原中学校の吹奏楽部をお招きし、演奏会を開催しました。ご利用者は三十名参加され、演奏された「上を向いて歩こう」「ふるさと」「ああ人生に涙あり」などの名曲を聴き入っていました。

生の楽器演奏であるため、ご利用者は始め、音の迫力に圧倒されているように思われましたが、音に慣れてくるにつれ、手拍子や演奏に合わせて唄われている方もいました。

中学生は当日のために練習を重ねていたこともあり、技術も表現力も高く、演奏への熱意も感じられました。また、間奏中の司会も元気いっぱい盛り上げていただき、とても感謝しております。

今後もご利用者、職員ともに楽しんでる年中行事を絶やさず行つて参ります。

(広報委員 T・D)





# 夏祭り



今年は七年ぶりにご家族や地域の方々を招待しての開催ということもあり、職員一同気持ちを入れて準備を行ってきました。

盆踊りや松原太鼓の舞台としての櫓作り。雨避けや苑内で過ごしていただくためのシート張り。また子供たち



にも楽しんでいただけるよう射的やヨーヨー釣り、屋台など複数の催し物を用意するために準備を進めてきました。

当日は天気に恵まれ夏祭り開始一時間前からご家族が徐々に来苑されご利用者と楽



しく談笑されながら開始の時間を待たれていました。最初に松原太鼓の演舞とともに盆踊りが始まりました。その後は司会の進行のもと、岡部理事長の挨拶、松原太鼓の演舞、二回目の盆踊り、渡邊施設長の挨拶を行い、最後に終わりの言葉を頂き終了しました。

夏祭りを行っている間にも続々とご家族や地域の方々が来苑し、お子様をお連れして出店のほうに行かれる方々も見られ大変賑わっていました。ご家族・ご利用者ともにとっても喜ばれた様子が見られたのでこれを励みに来年度以降も引き続き行えるよう努めて参ります。

(広報委員 H・M)



## 新入職員紹介

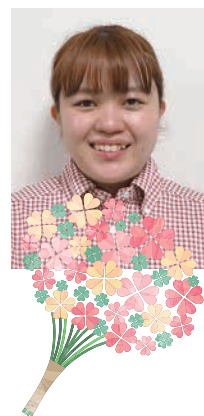


藤原 博紀(ケアワーカー)

★生まれ月：十二月

★趣味・特技：ゲーム・映画鑑賞

★ひとこと：入職して早いもので半年が経ちましたが、覚えることもまだまだあるので、これからも頑張ります。



中島 叶萌(ケアワーカー)

★生まれ月：十一月

★趣味・特技：音楽鑑賞・ライブ観戦

★ひとこと：日々の業務を行うとともに資格取得に向けて勉強を行い、今後も介護者として成長していけたらと考えております。



神矢 明日香(ケアワーカー)

★生まれ月：十一月

★趣味・特技：歩くこと・フラフープ・シャボン玉

★ひとこと：ご利用者の立場に立ち、笑顔で過ごしていただけるよう努めて参ります。

## 寄付寄贈

◎志村 義明 様

◎野村 房夫 様

ありがとうございました。

## 編集後記

残暑が続いており、昼間は夏の暑さが肌を刺しますが、夕方になるとスズムシの鳴き声が聞こえ、秋の気配が感じられるようになりました。

桜原苑では毎年夏の時期には夏祭りや花火大会、スイカ割り、流しそうめんなどご利用者の皆様のため、夏の暑さに負けず楽しんでいただけようイベントを複数行ってきました。

これから台風が多くなる時期です。桜原苑では毎年、予報の時点で帰宅が困難だと判断された際は泊まる準備を行ってからの出勤する職員をよく見かけます。

都会の暑さから逃れるため檜原村までキャンプやバーベキューなどを楽しみにやってくる観光客を眺めながら今日も仕事に向かう広報委員より。

